第５４回宇宙政策委員会議事録

１．日時：平成２８年１０月２６日（水）　１４：００－１５：００

２．場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

３．出席者：
（１）委員
葛西委員長、松井委員長代理、遠藤委員、後藤委員、山川委員、山崎委員
（２）政府側
宇宙開発戦略推進事務局高田事務局長、佐伯審議官、高見参事官、松井参事官、守山参事官、小暮参事官

４．議事次第：
（１）準天頂衛星初号機後続機の開発について
（２）宇宙基本計画工程表の改訂について
（３）その他

５．議事：
（１）準天頂衛星初号機後継機の開発について
宇宙開発戦略推進事務局より説明があった。その後、委員間で以下の議論があった。
（以下、〇意見・質問等、●回答）

〇ユーザーニーズ調査、関係省庁調査の努力に敬意を表したい。２０１０年の初号機打上げに関与していたので寿命１０年を迎えるのは感慨深い一方、その後継機を着実に２０２０年までに上げる必要があるので、是非引き続きお願いする。技術的な話だが、「公共専用サービス」の分科会の仕事をしているのでコメントするが、公共専用信号の２周波化等について是非精度向上という観点から検討していただきたい。（山川委員）

●２周波化にいては、公共専用信号も含めてしっかりと取り組んでいきたい。（守山参事官）

〇この内容について一切異議はありません。（後藤委員）

〇２００社以上のユーザー調査は、どのような分野のユーザーに対して行ったのか。

今後、内閣府を中心にいろいろな宇宙の利用の開拓を進めるわけだが、新しい意見なども出てくると思う。継続的にユーザー調査をやっていただきたい。（山崎委員）

●分野としては、自動車・モビリティー系、電気精密機器系、道路・地図・測量系、林業系、物流量、スポーツ系、通信・キャリア系、ローカルビジネスサービス系、観光系、社会インフラ系、危機管理・安全保障系、災害危機系、農業系、宅配系、広告系、医療介護・健康系、教育系、保険系、金融機関、衛星系、鉄道系、見守りサービスと意見交換を行った。新しい分野については、S-NETや業界団体と議論をしながら進めていくが、アメリカやヨーロッパのプレイヤーからも準天頂衛星のサービス補強に関心が高まっており、そういったプレイヤーとの連携もあわせてやっていく。（守山参事官）

○安全保障分野においてしっかり活用されることが重要。民生利用については民生利用部会と振興の小委員会で年末に向けて議論を重ねていきたい。そこである程度民間の利用による投資の回収についても目配りをしていく議論を重ねていきたい。（遠藤委員）

（２）宇宙基本計画工程表の改訂について

宇宙開発戦略推進事務局より、宇宙基本計画工程表の改訂作業に関する各部会における議論の状況について説明があった。

以上